



## 校 正 証 明 書

依 頼 者 名 ○○○○  
住 所 ○○○○  
品 名 ○○○○  
製 造 者 名 ○○○○  
型 式 ○○○○  
製 造 番 号 ○○○○  
校 正 項 目 周辺線量当量率  
校 正 方 法 JIS Z 4511:2018 置換法 I による  
校 正 結 果 2頁の通り  
校正実施場所 東京都文京区関口1-14-10  
東洋メディック株式会社 関口テストラボ 照射室  
校正年月日 ○○○○

校正結果は前項の通り相違ないことを証明する。

発行年月日 ○○○○  
発 行 者 東京都文京区関口1-14-10  
東洋メディック株式会社  
計量計測部 計量校正課

この証明書は特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。

**東洋メディック株式会社**



TOYO  
MEDIC

総数2頁の2頁目  
校正証明書番号 ○○○○

## 校 正 結 果

### ○○校正

標準場の 取決め真値 $\mu\text{Sv/h}$	測定値 $\mu\text{Sv/h}$	校正定数	不確かさ (%)
○○○	○○○	○○	○
○○○	○○○	○○	○
○○○	○○○	○○	○
○○○	○○○	○○	○

校正結果に記載されている校正定数及び不確かさは、特定二次標準器の校正定数及び不確かさを、ICRU Report90に対応した校正定数及び不確かさへ換算した結果を用いて校正した値である。

標準場の取決め真値は20 °C、1013 hPaを基準条件とした。

本体側面の打刻点を検出器中心とし、測定器底面の入射窓を閉めた状態で窓面に対して垂直に入射。  
測定値は11回以上の読み取りの平均値。

不確かさは $k=2$ （信頼の水準約95%）とした相対拡張不確かさ。

### 試験条件

線 質  $^{137}\text{Cs}$  -  $\gamma$  線  
使用線源  $^{137}\text{Cs}$  7.4 GBq, 1.85 GBq, 185 MBq  
校正距離 ○○ cm ~ ○○ cm  
室 温 18 °C ~ 22 °C  
気 圧 860 hPa ~ 1060 hPa  
湿 度 30 % ~ 75 %

### 校正に用いた参照標準器

#### 表示部

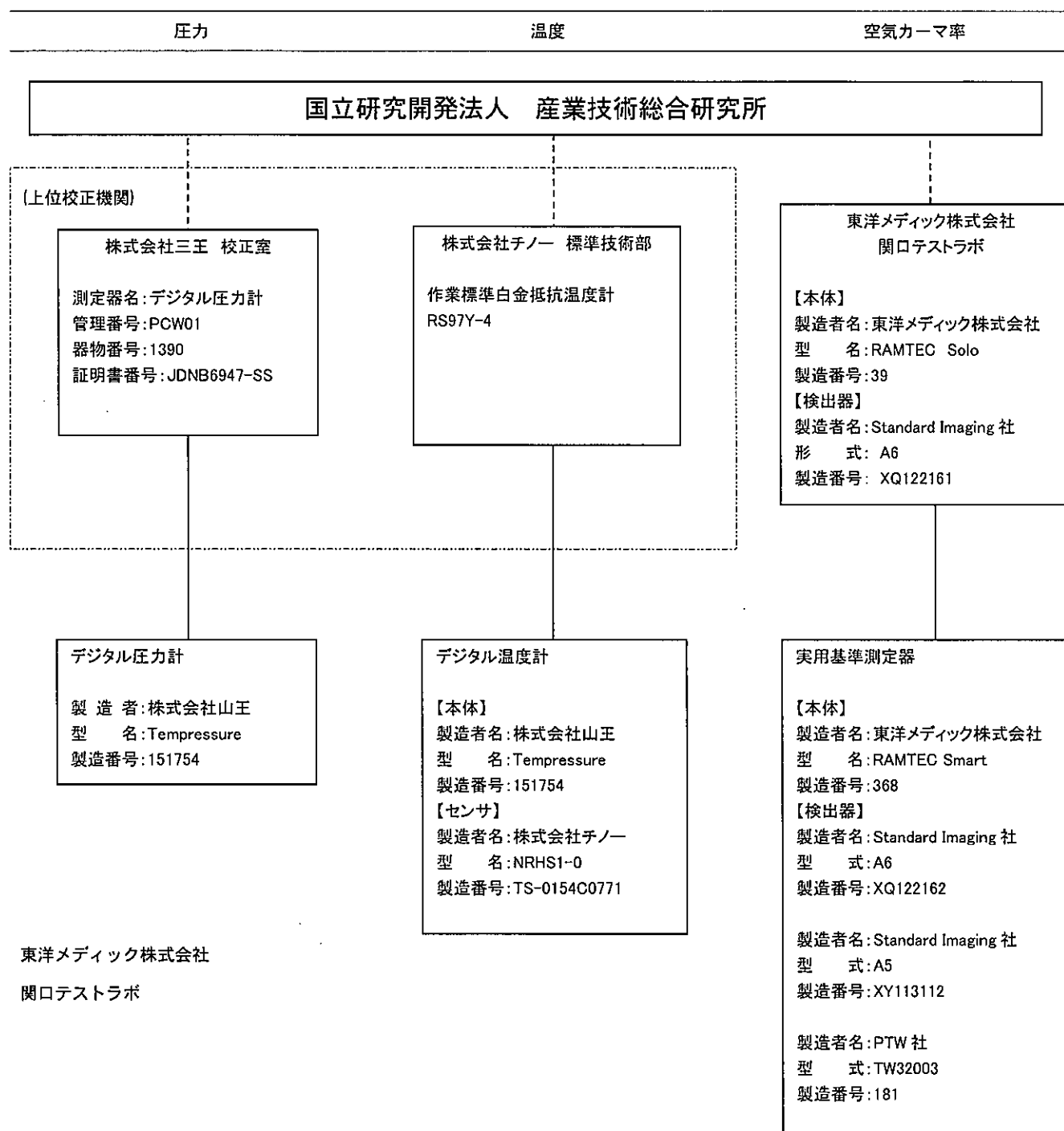
製造者名 東洋メディック株式会社  
型 式 RAMTEC Smart (Lレンジ)  
製造番号 368

#### 検出部

製造者名 Standard Imaging PTW  
型 式 A6 TW32003  
製造番号 XQ122162 181

以上

## 校正の体系図



東洋メディック株式会社  
関口テストラボ